

《口腔科学研究科博士後期課程 口腔保健学専攻（学術）》

・ディプロマ・ポリシーに特に強く関連するものは◎、関連するものは○を記入する。

科目名		ディプロマ・ポリシー	主要授業科目	【1. 高度な 道徳力と課題 解決能力】	【2. 教 育・研究指 導能力】	【3. 高度な 専門技術と指 導能力】	【4. 国際性 と情報発信 能力】	【5. 社会 貢献】	科目の教育目標	
				長寿福祉口腔保健学に関する諸問題に対して情報収集と分析を行い、科学的視点から保健医療・福祉に従事するチームの一員として関連の諸課題を解決できる。	長寿福祉口腔保健学領域の教育と研究を行う大学等において、その領域を展覧できる教育者・研究者として指導できる。	口腔保健と地域医療福祉に関する高度な専門知識と技能を有し、医療と福祉の現場において両者の知識と技能を駆使した解決策を見いだし、指導的立場から実践できる。	国際社会における口腔保健と社会福祉に関する諸問題に対して分析能力を有し、あわせて高度なコミュニケーション力を利用してその対策を立案し、国際社会に向けて発信できる。	口腔保健から見た栄養学や地域社会福祉制度に関する研究成果を広く社会に開示することや人々の健康と福祉に貢献できる。		
基礎科目	全専攻系共通カリキュラム科目	生命倫理概論		◎	○				生命倫理学、臨床倫理学、社会倫理、個人情報保護、実験動物愛護等について概説できる。	
		臨床心理学		◎					臨床心理学の基礎的理論・技法および今日的課題を説明できる。	
		社会医学・疫学・医学統計概論		◎					社会医学・薬学・歯学等に関して、授業目的に示した講義内容の理解が深まることを目標とする。	
		英語論文作成法		◎			○		21世紀に医学、歯学、薬学、栄養学、保健学の各分野で活躍する人材には発信型英語能力が堪能であることが要求される。本授業ではこれらの領域で用いられる独特の英語表現法に関わる基本的知識を修得することを目的とする。	
		生命科学の研究手法		◎	○				医学・生命科学に必須の初歩的技術が理解できる	
		医療系分野における知的財産学概論		◎		○			1. 知的財産制度の全体像を理解する。 2. 研究活動や医療で必要な知的財産制度の内容を理解する。 3. 社会人として活動するに際して役に立つ知的財産制度の内容を理解する。	
		生命科学コミュニケーション特論		○		○	◎		英語による先端抗腫瘍の理解をした上で、それをまとめたプレゼンテーションができる。プレゼンテーションに対して適切に議論ができる。	
専門科目	専門基礎科目	口腔保健栄養福祉学特論	○	◎	○	○	○	○	1. 高齢者の口腔機能状態が理解できる。 2. 高齢者の栄養状態が理解できる。 3. サルコペニア（加齢性筋肉減少症）が理解できる。 4. 加齢関連疾患とペリオドンタルメディスンについて理解できる。 5. アンチエイジング研究について理解できる。 6. 機能性食品とその応用について理解できる。 7. シェドットロジーに必要な各ライフステージの口腔保健の特徴を理解できる。 8. 地域医療・高齢者福祉の現状が理解できる。 9. 長寿福祉口腔保健学関連の疫学研究の現状が理解できる。 10. 歯科衛生士教育における高齢者福祉・栄養学の現状が理解できる。	
		課題専攻科目	医療倫理と研究倫理	○	◎	○				現代の医学および医療レベルのめざましい進歩の中で、必要とされる医の倫理や研究倫理、生命の尊厳について理解を深め、医療人および研究者として対処すべき倫理に関する基礎知識と行動規範を学ぶ。
	専門展開科目	口腔保健医療管理学特別演習	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1. 歯科衛生士教育のカリキュラムを構築できる。 2. 歯科衛生士教育に關する学術論文の研究方法を理解できる。 3. 他職種連携教育（IPE）に関する研究を理解できる。 4. 国際的な歯科衛生士教育に関する研究を理解できる。 5. 老年学（ジェトロロジー）の概念を説明できる。 6. 高齢者歯科教育に関する研究を理解できる。 7. 口腔疾患に関する分子生物学的研究を理解できる。
		口腔保健衛生学特別演習	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1. 関連分野の学術論文の研究方法が理解できる。 2. 口腔保健に關する栄養学研究の計画が立案できる。 3. 地域保健に關する観察研究の計画が立案できる。 4. 歯科衛生士に關する栄養管理下での専門的口腔ケア介入研究の計画が立案できる。 5. 栄養管理を含む臨床データの統計解析ができる。 6. 地域保健に關する疫学データの統計解析ができる。 7. 栄養管理下での専門的口腔ケア介入研究のデータの統計解析ができる。
		口腔保健支援学特別演習	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1. 長寿福祉口腔保健学の研究方法が理解できる。 2. 関連分野の定量的・定性的分析方法を明確に理解し、当該分野の研究に活用することができる。 3. 栄養管理と加齢関連疾患の予防・発症遅延に關する観察研究の計画が立案できる。 4. 加齢関連疾患の予防・発症遅延に關する口腔ケア介入研究の計画立案ができる。 5. 口腔ケア地域支援プログラム構築に關する介入研究の計画立案ができる。 6. 社会的情報ネットワークによる実践的地域教育支援に關する介入研究の計画立案ができる。 7. 加齢関連疾患の予防・発症遅延に關する研究データの統計解析ができる。
		口腔機能管理学特別演習	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	授業のテーマ：介護および介護予防に貢献できる口腔機能管理学研究の理解 授業の目的：口腔機能管理学の研究を遂行するために必要な研究方法の理論を事例から学び、理解を深めることを目的とする。
		口腔保健福祉学特別演習	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	1. 高齢者口腔保健学分野の研究方法及び理解できる。 2. 高齢者および障がい者を対象とした社会福祉学分野の研究方法及び理解できる。 3. 関連分野の定量的・定性的分析方法を明確に理解し、当該分野の研究に活用することができる。 4. 口腔保健福祉学に關する疫学研究の計画が立案できる。 5. 地域医療福祉に關する障害・高齢・児童福祉分野などの介入研究の計画が立案できる。
		地域医療福祉学特別演習	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	1. 関連分野の学術論文の研究方法が理解できる。 2. 関連分野の定量的・定性的分析方法を明確に理解し、当該分野の研究に活用することができる。 3. 地域医療福祉に關する疫学研究の計画が立案できる。 4. 地域医療福祉に關する障がい・高齢・児童福祉分野などの介入研究の計画が立案できる。
	課題専攻科目	口腔保健医療管理学特別研究	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	1. 決定した歯科衛生士教育に關する研究課題の意義を説明できる。 2. 歯科衛生士教育に關する研究計画が立案できる。 3. 歯科衛生士教育に關する倫理審査申請ができる。 4. 研究課題を遂行するための資料収集ができる。 5. 収集した資料の解析方法を選択し、その結果を評価できる。 6. 得られた成果のプレゼンテーション資料を英語により作成できる。 7. 得られた成果について他の研究者と討議し、必要な修正ができる。 8. 学術専門誌へ投稿可能な論文を作成できる。

ディプロマ・ポリシー 科目名		主要授業科目	【1. 高度な 理解力と課題 解決能力】	【2. 教 育・研究指 導能力】	【3. 高度な 専門技術と指 導能力】	【4. 国際性 と情報発信 能力】	【5. 社会 貢献】	科目の教育目標
			長寿福祉口腔 保健学に関する 諸問題に対し て情報収集と 分析を行い、科 学的視点から 保健医療・福 祉に従事する チームとして 関連の諸課題 を解決できる。	長寿福祉口腔 保健学と研究 を行う大学等 において、その 領域を展開で きる教育者・ 研究者として 指導できる。	口腔保健と地 域医療福祉に 関する高度な 専門知識と技 能を有し、医 療と福祉の現 場において商 者の知識と技 能を駆使した 解決策を見 いだし、指導 的立場から実 践できる。	国際社会にお ける口腔保健 と社会福祉に 関する諸問 題に対して情 報収集能力と 分析能力を有 し、あわせて 高度なコミュニ ケーション力 を活用してそ の対策を立案 し、国際社会 に向けて発信 できる。	口腔保健か ら見た栄養学 や地域社会 福祉制度に 関する研究 成果を広く 社会に開示 することで 人々の健康 と福祉に貢 献すること ができる。	
課題研究科目	口腔保健衛生学特別研究	○			◎	◎	◎	1. 決定した長寿福祉口腔保健学の研究課題の意義を説明できる。 2. 研究課題に関連する研究計画が立案できる。 3. 研究課題に関連する倫理審査申請ができる。 4. 必要な研究を遂行できる。 5. 研究課題のプレゼンテーション資料を英語により作成できる。 6. 研究成果の分析に必要な統計解析ができる。 7. 研究成果を学術発表できる。 8. 学術専門誌へ投稿可能な論文を作成できる。
	口腔保健支援学特別研究	○			◎	◎	◎	1. 決定した課題研究の意義を説明できる。 2. 課題研究の計画が立案できる。 3. 課題研究に関わる倫理審査申請ができる。 4. 立案した計画に則り課題研究を遂行できる。 5. 研究結果の解析・解釈ならびに考察ができる。 6. 課題研究に関する発表資料を英語で作成できる。 7. 研究結果を英文誌投稿用の論文として作成できる。
	口腔機能管理学特別研究	○			◎	◎	◎	授業のテーマ：サルコペニア（加齢性筋肉減少症）予防・改善に貢献 できる口腔機能管理学研究の立案と実践 授業の目的：口腔保健栄養福祉学（講義）および口腔機能管理学特別 演習にて修得した知識・技術をもとに、研究指導教員の指導の下、栄 養管理を含めた研究課題に応じた専門的研究を行い、得られた研究成 果を分析・考察し、論文とすることを目的とする。
	口腔保健福祉学特別研究	○			◎	◎	◎	1. 決定した長寿福祉口腔保健学の研究課題の意義を説明できる。 2. 遂行可能な高齢者口腔保健や障がい者福祉の研究計画が立案でき る。 3. 研究課題遂行に必要な倫理申請ができる。 4. 研究計画に基づく適切な研究を遂行できる。 5. 課題のプレゼンテーション資料を英語により作成できる。 6. 高齢者口腔保健や障がい者福祉に関する研究成果の分析に必要な 統計解析ができる。 7. 研究成果を学術発表ができる。 8. 研究論文を学術誌へ投稿ができる。
	地域医療福祉学特別研究	○			◎	◎	◎	1. 決定した長寿福祉口腔保健学の研究課題の意義を説明できる。 2. 研究課題に関連する研究計画が立案と倫理申請ができる。 3. 必要な研究を遂行できる。 4. 研究課題のプレゼンテーション資料を英語により作成できる。 5. 研究成果の分析に必要な統計解析ができる。 6. 研究成果を学術発表および学術誌への投稿ができる。